科目名 (Eng)	財務諸表論(Financial Statements)								
担当教員	渡部 美紀子								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	ﾋﾞｼﾞﾈｽｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学専攻	1	後期	選択	2	(30)	専門	A	○

目標基準との対応	
	福島高専の教育目標との対応:(C-1). (D-1).
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応:3).4).
	JABEE基準1(1)との対応:d(1).d(2). g. h.

授業の概要と方針	貸借対照表，損益計算書等の財務諸表の基本的な用語，作成手続き並びに表示方法について学習する。財務諸表論の理論について学ぶ。
到達目標	①基本的な会計原理を理解し，会計分野の最近の動向を理解出来る。 ②会計諸則に基づいて作成される財務諸表の意味を理解出来る。

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	準備学習
後期	16	イントロダクション	会計の意義，種類，役割	
	17	会計と開示	企業会計と情報開示	授業で取り上げた項目につき，よくその理論的根拠を考え，理解しておくこと。
	18	概念と構造	貸借対照表と損益計算書	
	19	利益の実現	資産の価値と利益の実現	
	20	費用の配分	費用の発生と配分，減価償却	
	21	配分と評価	棚卸商品，減損，繰延資産等	
	22	金融商品	有価証券の評価	
	23	資本会計	留保利益と拠出資本等	
	24	連結と合併	連結，合併の考え方と方法	
	25	資本と利益の概念	企業利益と資本価値	
	26	価格変動と資本維持	個別価格の上昇と一般物価水準の上昇	
	27	利益の測定と情報開示	利益情報の意味と役割	
	28	会計研究のパラダイム	財務会計の研究動向	
	29	利益情報と配当規制	配当と債権者保護	
	30	総合演習	まとめ	

試験について	実施する。
評価方法	定期試験70%，課題30%で総合的に評価する。
教科書	『財務会計　』広瀬義州，中央経済社;配布プリント
参考書	
関連科目	
履修上の注意	履修する前に中級程度の複式簿記を学習しておくこと。自学自習の方法―学生に課題を与え，定期的に提出させる。自学自習の確認方法―学生に課題を与え，定期的に提出させる。